

## 1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、期末要因が剥落したことで、無担保コールO/N加重平均レートが徐々に上昇すると見られていたものの、Gレポレートの戻りが鈍かったことが影響してか、先週とほぼ同様に無担保コールO/N加重平均レートは0.06%近辺での推移となった。調達水準は、週間を通じて地銀・信託業態が0.05%台後半、大手行は0.05%台前半程度となっていた。ターム物は、証券業態からロールオーバーでの取引が散見される程度であった。固定金利方式の共通担保資金供給オペに関しては、9日に3M物・8,000億円がオフアーされ、落札額1,541億円と札割れとなった。6、7日には金融政策決定会合が開催され、現状維持が全員一致で決定された。また、7日に黒田総裁が参議院予算委員会に出席したため、1998年9月以来となる会合の中断が発生した。

今週は積みの最終週かつ新しい積み期の始まりとなる。資金需給は、14日がTB3M発行超過により大幅不足、15日が年金定時払いを中心に大幅余剰、17日が30Y発行により不足となる見込み。無担保コールO/NはGレポレートの推移にもよるが、当座預金残高が高水準で推移しており、引き続き0.06%近辺で推移するとみられる。

## 2. オープン市場

先週の短国市場は、3日に実施された3兆5,000億円の短国買入オペの影響もあって、品薄感の強い状態で始まった。8日以降に入札が連続したことで、市場に新発物が供給されたものの、短国買入オペで処分できるという安心感や、年末を見越した玉確保等の動きなどから、市場の品薄感は引き続き強い。8日の6M物は、最高落札利回り0.0040%、平均落札利回り0.0020%。9日の3M物は、最高落札利回り0.0056%、平均落札利回り0.0030%といずれも強めの結果であった。10日の2M物は、年内物であることに加えて短国買入オペに処できない可能性がかなり高いことから、最高落札利回り0.0111%、平均落札利回り0.0081%という結果になった。

先週のCP市場は、鉄鋼・石油・電機業態を中心に、期初の大型発行が相次いだ。週間の発行総額は約7,200億円程度(入札ベース)とさほど多くはないものの、償還も少ないことから、市場の発行総残高は順調に積み上がっている。発行レートは、a-1格相当で0.07~0.08%台、a-1格相当は0.09%台での推移。9日に実施されたCP等買入オペの影響からか、若干レートが低下した。CP等買入オペは、前回の5,500億円から4,000億円に減額されたことに加え、対象銘柄が幅広かったことから、最高落札利回り0.088%、按分率85.9%、平均落札利回り0.090%という結果になった。9月25日に実施された前回オペの足切り水準(0.079%)から、大幅にレートが上昇した。

今週の短国市場は、15日に1Y物、16日に3M物の入札が予定されている。いずれも短国買入オペを期待した買いが予想され、強めの結果となる見込みが見込まれる。CP市場は、発行レートは横ばいでの推移が見込まれる。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で900億円程度の還収超見通し。財政資金は、15日に年金定時払いや源泉税揚げが予定されており、週間で8,000億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で8,900億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<14日>TB3M; 償還41,700億円・発行57,000億円 <15日>TB2M; 発行25,000億円/2Y; 償還22,600億円・発行27,000億円/個人向け3・5・10Y; 発行2,300億円/個人向け3・5Y; 償還3,200億円/流動性供給; 発行3,000億円 <16日>交付税特会借入; 期日10,500億円・新規10,500億円 <17日>30Y; 発行7,000億円/預保借入; 期日500億円・新規500億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オ ペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
10/13 (月)				体育の日				
10/14 (火)	900	△ 23,000	△ 22,100	全店共通(固) 国債買入 CP買入	△ 2,800  △ 300	1,500 5,700	4,100	△ 18,000
10/15 (水)	1,000	36,000	37,000	CP買入		3,600	3,600	40,600
10/16 (木)	0	1,000	1,000				0	1,000
10/17 (金)	△ 1,000	△ 6,000	△ 7,000				0	△ 7,000
週間合計	900	8,000	8,900		△ 3,100	10,800	7,700	16,600

(注) 上表の10/14は日銀予想、10/15以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
10/13 (月)	体育の日		米国休日 (Columbus Day)
10/14 (火)	9月のマネーストック(日銀 8:50) 9月の企業物価指数(日銀 8:50)		9月の英消費者物価指数
10/15 (水)	8月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50) 8月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB1Y 25,000億円 10/20発行	米ページブック ECB定例理事会(金融政策発表なし) 8月の米企業在庫 9月の米生産者物価指数 9月の米小売売上高
10/16 (木)		TB3M 57,000億円 10/20発行	9月の米鉱工業生産・設備稼働率 9月のユーロ圏消費者物価指数改定値
10/17 (金)	全国信用組合大会にて黒田総裁講演	5Y 27,000億円 10/21発行	9月の米住宅着工件数 10月のミシガン消費者信頼感指数速報

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入